

学校名 上尾市立大石北小学校
所在地 上尾市井戸木4丁目2番地
電話 048-775-4428

1 本校の概要

本校は、昭和54年に開校し、今年度で40周年の節目の年を迎えた、学級数27学級、児童数769名の大規模校である。高崎線から少し離れた閑静な住宅街の中に位置し、大きな公園が隣接しているなど落ち着いた学習環境にある。

平成30、31年度の2か年で、研究主題を「主体的に行動できる児童の育成～学習規律の確立を基盤とした学力の向上～」とする研究を進めている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 読み聞かせ

年間を通して数多くの読み聞かせを実施した。

4月…担任による読み聞かせ

6月…図書委員による読み聞かせ（2回）

11月…図書委員・司書教諭・担任間を入れ替えた読み聞かせ（それぞれ2回ずつ）

図書支援による読み聞かせ

※6月より、休み時間を使って、定期的に図書委員による読み聞かせを行っている。



イ 「読書かるた」の取組

本のタイトルの頭が「あ」から「わ」までの全44音の本をそれぞれ1冊ずつ読んで記入する「読書かるた」を作成した。10冊、20冊、30冊読み終わるごとに、手作りのしおりを渡している。11月から始め、1月11日の時点で全44音のかるたを作成できた児童は27名である。

ウ 全校での「読書の木」の取組
 図書委員が作成した「読書の木」



に、お薦めの本を書いたリンゴの実を貼り、誰もが見える場所に掲示した。

エ お薦めの本の紹介

図書室内に図書委員によるお薦めの本コーナーを設置し、本の近くには、お薦めポイントを書いたポップを一緒に掲示した。また、図書委員が作成した冬のお薦めの本を描いたポスターを全クラスに配布した。



オ 読書ランキングの表彰

多読者児童上位10名の表彰を毎学期終わりに校長室で行った。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

「読書の木」の掲示や読み聞かせを行うことで、いろいろなジャンルの本に親しみ、本の世界を広げることができた。また、「読書かるた」の取組では、低学年の児童が積極的に取り組み、12月までの貸出冊数は平均22冊となった。

読書ランキング表彰や「読書かるた」でのしおりの配布や完成した児童への賞状配布などが、児童の読書に対する意欲向上へとつながった。

(2) 課題

高学年になるにつれて、行事等で忙しいために、図書室を利用する回数が減り、読書離れの傾向が見られる。また、日頃から読書習慣のある児童とない児童の差や本への興味・関心の差が大きい。今後は、学年やクラス単位で本への興味・関心を高めたり、読書をするきっかけを与えたりしていく必要がある。

(3) おわりに

今後も学校全体で協力し、全教員で共通認識を図りながら、積極的に児童へ働きかけていくことで、児童の読書活動の充実を図っていきたい。